

令和5年2月10日
教育委員会事務局

新型コロナウイルス感染症に係る教育委員会事務局の対応について

新型コロナウイルス感染症に係る教育委員会事務局の対応等について、下記のとおり報告する。

記

1. 区立小中学校

通常登校による授業を基本とし、各種行事等も含め、感染防止対策を徹底した上で創意工夫した教育活動を実施する。また、オンラインによる授業参加など、ICTを活用し児童・生徒の実態等に応じた支援を継続する。

2. 区立幼稚園

引き続き、感染防止対策を徹底した上で、通常どおり運営する。

3. 新BOP

学童クラブ、BOPとも引き続き、感染防止対策を徹底した上で運営する。

4. 学校施設開放

基本的な感染防止対策を行った上で、施設を開放する。

5. 図書館・図書室・図書館カウンター

引き続き、感染防止対策を徹底した上で、通常どおり開館する。

6. 区立小・中学校での感染発生状況（直近3か月の推移）

	区立小学校		区立中学校		合 計	
	人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数
11月	1,252人	60校	293人	27校	1,545人	87校
12月	1,524人	60校	384人	27校	1,908人	87校
R5年1月	564人	58校	229人	25校	793人	83校

（注）人数は児童・生徒及び教職員等の陽性者数。学校数は陽性者が発生した学校の実数。

7. 区立小・中学校での学級閉鎖状況（直近3か月の推移）

	区立小学校		区立中学校		合 計	
	学校数	学級数	学校数	学級数	学校数	学級数
11月	23校	45学級	6校	8学級	29校	53学級
12月	23校	40学級	8校	12学級	31校	52学級
R5年1月	9校	9学級	2校	3学級	11校	12学級

（注）学校数は実数。学級数は延数。いずれも学級閉鎖を決定した日をもとに集計した数。

【学級閉鎖基準】

■令和4年9月1日から当面の間

原則として、連続する4日間のうちに「4名以上」の児童・生徒の陽性が判明した場合。または、「2名以上」の陽性が判明し、風邪等の症状で欠席している者が複数いるなど、「4名以上」になることが見込まれる場合。

閉鎖期間：翌日から3日間

8. 社会的検査の運用変更（学校関連抜粋）

小・中学校での抗原定性検査キット（以下、「検査キット」）の配付について、令和5年4月以降の運用方法を以下のとおり変更する。

（1）行事前検査（宿泊行事・部活動大会）

令和4年度をもって終了する。

※旅行等の行動制限のほかマスクの取り扱いなど、国の感染症対策が緩和されてきている状況や、行事实施前に児童・生徒の陽性が判明した場合には、随時検査の補完として希望者に検査キットを配付することもできることから、各校一律に配付し行っている行事前検査を終了する。

（2）随時検査の補完

令和5年4月以降も実施する。（9月までの予定）

※児童・生徒等の陽性が判明した際に、当該クラスの希望者に検査キットを配付する。

なお、社会的検査体制については、今後も感染状況や国・都の動向を注視し、制度変更等の内容によっては一部縮小・廃止する可能性を念頭に、体制を随時見直すとともに、令和5年度下半期（10月から3月）の実施の必要性を検討する。